

なみずき 和

高藤 朝子

平成30年4月15日 発行

第23号

社会福祉法人 京都眞生福祉会
 特別養護老人ホーム 綾部はなみずき
 〒623-0045 綾部市高津町遠所1番621
 TEL0773-40-1300
 ホームページ
<http://shinseifukushikai.jp/hanamizukuki>
 編集:綾部はなみずき広報委員会



白モクレン 花期:3月~4月
 大きな白いつぼみは、灯されたロウソクのような感じです。
 気品漂う花容と、香は、春の陽ざしに溶け込んでいく感じがします。
 開花時期は2~3日と短く、気を付けていないと見逃してしまいます。



利用者様の「昔、こんな仕事してました」



- 掲載内容**
- ・利用者様の 昔、こんな仕事してました
 - ・節分、ひな祭りの行事食
 - ・今一番輝いている職員の紹介
 - ・雛人形飾りました
 - ・節分の豆まきをしました
 - ・高齢者虐待防止研修会
 - ・施設からお願い

☆地元の女学校を出て、叔父の世話で大阪の住友銀行に就職しました。叔父はその当時、住銀の支店長として、綾部から住銀に就職できたのは私だけやった。貸付担当をしてみました。給料はそりゃよかったですわよ。叔父は子供いなくて、叔父の家に下宿してました。叔父が福知山に帰ることになって、私も綾部に戻りました。

☆昔はそろばんはじいたり、台帳つけたりする事務員やとった。大きいとこの支店で給料よく貰ってて、事務員でこんなには貰えるのかなと姉によく言われた。でも戦争負けてから仕事辞めて嫁に行ったらんや。それから百姓やって米、野菜、蚕もしたとった。



☆若い頃は旅館で中居さんやりよった。今と違って昔はチップもらえたんや。うちは民謡をいろいろ歌えたらからチップもようけ稼げた。他の仲居たちは歌えへんで、チップも少なくてよう妬まれた。悔しかったらあんなに歌ってみやと言ったや。

☆先祖代々からこの土地で百姓しておりました。自分は八代目です。田んぼが七反、畑が三反ありました。ヤミ米とあって、値段が高くて買えない。高い値段で買おうとてくれるところがあった。値打ちの良いコシヒカリを作りました。息子たちは小さい頃はよう手伝したら親に相談もせん



と自分の好きなことやりだしよった。そやさかい、自分の代で終わります。

☆私は大阪で鉄屋、鉄の商売してたわ。元々は九州の実家の薬局を継ぐつもりで神戸の薬科専門学校に行って、卒業後地元に戻り八幡製鉄所(現在世界遺産)の薬局に勤めました。結婚してから鉄屋始めたわ。主人は社長してたけど物腰が柔らかくて、商談の締めはいつも私がバシッと締めてたわ。主人ではよく推されへんところを私に代わると相手は快くひきうけてくれた。それを主人が横で見ているようやった!と手を叩いてくれたわ。不渡り出した時あったけど、あの天下の住友銀行が奥さんやから貸すといつて助けてくれたのよ。私は自分でも女やないな男やなと思った。

・綾部はなみずき
 ・北館 長期入所 80名 短期入所 20名
 ・南館 長期入所 100名

運営方針
 ①利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、その居室における生活への復帰を念頭に置いて、入所前の居室における生活と入所後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な生活を営むことを支援する。
 ②地域や家庭との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、他の介護保険施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。

理念
 人と人との「絆」を大切にし、心ある豊かな暮らしの実現を目指します。

グループホーム あんずの里
 ・北館 18名 (9室×2ユニット)
 ・南館 18名 (9室×2ユニット)

理念
 その人らしく、生き生きと、暮らし続ける力を地域とともに支えます。

節分、ひな祭りの行事食

- ☆節分の献立
- ・助六・茶碗蒸し
 - ・和え物・すまし汁・甘納豆



調理担当者より
 特にこだわった巻き寿司は、サーモンや、ネギトロを入れてポリュームのある海鮮巻きになりました。
 利用者様に「おいしかったよ」と、おっしゃっていただけました事を励みにして今後につけていきます。
 安全でおいしい食事をこれからも提供したいと思えます。
 栄養科 向山

- ☆ひな祭りの献立
- ・桜ご飯
 - ・天ぷら盛り合わせ
 - ・茶碗蒸し・和え物
 - ・すまし汁・三色ゼリー



調理担当者より
 ほんのりピンク色に染まったご飯のトッピングは、桜の花の塩漬けです。
 利用者様に、暖かい春を感じていただけるようにと、可愛らしく盛りつけをしてみました。
 色とりどりで、見ても楽しめる、おもてなし料理になった事を嬉しく思います。
 今後、四季が伝わる料理を利用者様に提供していきたいと思えます。栄養科 牛澤

節分の豆まきをしました

節分は雑節の一つで季節の始まりの前日のこと。また、節分とは季節を分けるという意味があり、年に一回だけではなく四回あります。節分の日といえば鬼と福の神。鬼が牛の角と体、虎の牙と爪を持ち、虎の毛皮を身につけている姿から、丑の方と虎の方の間の方角を鬼門と呼びます。一年の始まりである立春を迎える前日に清め、新しい年を迎えるための儀式として節分の行事を行うようになったそうです。

さつき・つつじユニットで節分の豆まき行事を行い、職員が鬼に扮しました。利用者の皆様は子供の頃を思い出し懐かしんで、新聞を丸めた豆を鬼に投げて楽しんでおられました。幼い頃の記憶はいつまでも心の中に残っていて、自然な感じで童心に戻っているように感じました。



さつき・つつじユニット

高齢者虐待防止研修会

虐待はしてはならない、あつてはならない。では、どうして虐待は起きてしまうのか。

3月6日会議室にて新人職員向けの高齢者虐待防止研修会を行いました。介護の事例から、不適切な行為について参加者全員で考え、それぞれの意見を発表しました。

また、この研修会では、虐待は誰にでも起こりうることであり、虐待をしようとしていなくても、実はその行為が不適切なケアであったということもある。それを防ぐには、正しい知識と技術を習得し、経験を積み重ねることが大切であり、虐待や不適切なケアを発見した時には、勇気を持ってそれを指摘することが、介護のプロとして求められる責任であることを学びました。



★職員募集★

☆介護職

職場体験随時受付



綾部はなみずき

TEL 0773-40-1300

施設からのお願い

外出、外泊時



外泊外出時の際に必要な届け出につきましては、日時等の相違を避けるためにも電話連絡ではなく、なるべく家族様に施設までお越し頂き、窓口でご記入して頂きますようお願い致します。

贈答品



贈答品につきましては、当施設は一切お断りさせて頂いておりますのでご了承ください。

社会福祉法人京都眞生福祉会 4月1日 OPEN

平成30年4月1日京都市伏見区に当施設の関連施設
京都指月の郷がオープンしました。
West館 京都市伏見区常盤町40-3
East館 京都市伏見区桃山町泰長老176-5



次回、広報誌24号の発行日は
平成30年7月15日です。

今一番輝いている職員の紹介

むくげ・くちなしユニット 榎原職員 勤続6年

☆この仕事をするようになったきっかけ
母の闘病をきっかけに、介護される立場になって考え、介護が必要なる方の支えになりたいと思いこの仕事に就きました。

☆今現在どんな仕事をしていますか
食事、排泄、入浴などの生活援助、身体介護が主です。また、趣味を活かしてユニット内で四季折々の飾りつけもしています。利用者一人ひとりに応じた声かけをして、ちよとした気づきにも注意をはらい、体調管理を行っています。利用者様の笑顔のおかげで元氣ハツラツと仕事ができます。

☆この仕事をして良かった事
利用者の方々の「ありがとう」の言葉でお互いの信頼関係が持てたこと。

☆好きなこと、趣味
装飾小物の収集と飾り付けをすること。
料理も好きです。

☆最近あった嬉しかったこと、よかったこと
最近、初孫の陽(ハル)が初めて「おやばア」と呼んでくれた時、とても嬉しかったです。

☆これからの自分の夢、目標
利用者の方々が安心して穏やかに過ごせる施設を目指しています。

☆この仕事をアピールしてください
人と人とのつながり、支え合うことで満足感や、やりがいを得られます。

☆今一番輝いていると思う職員は、誰ですか？
たんぼぼ・チュールリップユニットの稲垣職員です。
利用者の間で一番人気のある職員だと聞いています。(次号掲載)



雛人形を飾りました

南館グループホームでは、三月五日にひな祭り行事を行いました。利用者の皆様で歌を歌ったり、ひな人形の前で写真撮影をしたり、ひな祭りならではのことを楽しめました。

おやつの中には、ひな祭りということ、ひな人形の形をしたかわいい和菓子や「美味いわ」と召し上がった、利用者の皆様はとても喜ばれていました。また、窓から見える梅を眺めては、利用者の皆様は「きれいやな」「もう梅が咲く時期か」とお話しされながら楽しんでいました。

これからも、利用者様に楽しんで頂ける行事を企画していきたいと思えます。

南館グループホーム
ぼたん・ひまわりユニット

